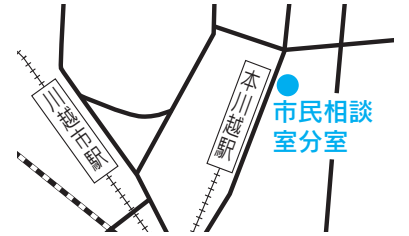


施設めぐり

市民相談室分室

TEL 226-0058



同分室では、交通事故・内職・消費生活・結婚相談を行っています。このうち結婚相談では、三年間で二十組以上の結婚が成立しています。

結婚相談は、出会いの機会として利用され、昨年12月末までの登録者数は、三百人以上です。年齢制限は無く、独身であれば、どなたでも利用できます。



利用方法は、①自分を登録。登録カードに自己PRを記入します。相手が何を知りたいかを考え、目に留まるPRを書くことがポイント②異性のカードを見て、気になる人を探します。相手への連絡は、相談員がしてくれます③相談員が相手に「会う意思」を確認します④同分室でお見合い。事前

人権教育シリーズ

ともに生きる社会をめざして⑦

人権推進課・TEL 224-5579

このシリーズは、自立生活問題研究所所長・谷口明広たぐらあきひろさんを招いて行った、人権問題講演会の要旨を人権推進課でまとめたものです。

一つ目の「あい」は、知り合いです。障害のある人たちへの理解を深めるための最初の段階は、知り合うことです。障害のある方がどこにいるのか、その人はなんていうお名前なのか、どういうことをして生きてらっしゃるのか、こういう思いを持ってらっしゃるか、このように知り合うことがすごく大事なですね。

例えば、今日皆さんは、私と会っていただきました。私が、二か月後ぐらいに霞ヶ関駅とか川越駅前をうろろしていたら、皆さんは私を見つけて、なんて声を掛けていたか、例えば「谷口さん」とか、「谷口先生」と声を掛けていただけたらと思います。しかし、初めて会ったときは、声なんて掛けないですよ。声を掛けなければならぬときでも、「車いすの方」とか、「車いすに乗ってらっしゃる方」と、何かさこちない聞き方でしょうか。だから、

知り合うことは、すごく大事なと思います。

今日、この上から見ていますと、車いすの方はいらっしゃいます。しかし、知的障害のある方は、何人か来ていただいていると思います。また、障害のある方々のお母さん、お父さんが来られているかもしれません。今日も、知り合うチャンスですよ。まずは、知り合っていたくことが、すごく大事だと思います。知り合わないと、後が続きません。それが一つ目の「あい」です。

二つ目の「あい」が触れ合いです。触れ合っていたくことが大事だと思っています。よく言われますが、車いすの方が困っておられ、声を掛けたいが、どうやって声を掛けていいのかわからない。失礼がないように声を掛けたいが、声の掛け方がわからない。「どうしたらいいですか」とよく質問を受けます。

(つづく)



問い…2通目の国民健康保険税の納税通知書が届きました。なぜですか。

答え…税額に変更が生じたときは、新しい納税通知書を送付します。

国民健康保険の加入世帯で、年度途中に加入・脱退した場合や、修正申告などで所得額を変更した場合は、税額が変更になることがあります。変更が生じたときは、新しい納税通知書を送付します。古い納税通知書は保存し、新しく届いた納付書をご利用ください。

また、国民健康保険の加入や修正申告を、年度をさかのぼって行った場合は、税額が変更になる場合があります。その際は「過年度」分として、さかのぼった年度分の納税通知書を送付します。現年度と過年度の国民健康保険税を、併せて納付してください。

問い合わせ…国民健康保険課国保資格担当・TEL 224-5836

今年こそ花粉症に 負けたくないように！

健康づくり支援課健康づくり支援担当・TEL 229-4121

最近、くしゃみ・鼻水・涙などの症状はありませんか。風邪の症状にも似ていますが、花粉による場合も考えられます。

花粉が多いと考えられるのは、
①晴れて、気温が高い日②空気が乾燥して、風が強い日③雨上がりの翌日や気温の高い日が二、三日続いた後、と言われていています。

花粉症を防ぐためには、できるだけ花粉に接しないようにするこ

とが大切です。マスクは、花粉を吸い込む量を減らし、眼鏡は、目に入る花粉の量を減らすことができます。最近では、花粉症対策専用眼鏡もあります。服装は、表面に花粉が付着しにくい素材の物を選ぶことをお勧めします。

屋内に入るときは、入口で花粉をよく払い落としましょう。特にウール製品は、花粉が付着しやすいので注意が必要です。外出から

帰ったときは、うがいや洗顔をしましょう。花粉を体の中に入れないようにすることが効果的です。

花粉症の症状が出始めた場合は、ごく初期に治療を開始することで、重症化を防ぐことができます。早めに受診してみてはいかがでしょうか。

花粉症のメカニズム、予防、治療などは、厚生労働省ホームページでご覧になれます。



川越市地球温暖化対策地域推進計画の重点プロジェクト⑦では、広げるもったいないの輪「ごみダイエットプロジェクト」を推進していきます。

私たちの暮らしの中で物を無駄にしない、大切にすることも、もったいないの精神を持ち、4Rを心がけましょう。

- ①不要な物は買わない・断る(Refuse)
- ②ごみを減らす(Reduce)
- ③物を繰り返し使う(Reuse)
- ④資源として再生利用する(Recycle)

買い物の際にレジ袋を断ると、二酸化炭素(CO₂)が削減できます。レジ袋を製造・廃棄するにはCO₂排出量が1枚約100g。市民1人が、1年間に使用するレジ袋は、約250枚なので、年間で約25kgのCO₂を削減することができます。更に、ごみの減量化にもつながります。市では、3種類のオリジナルマイバックを作成し、販売しています。このマイバックを利用して、環境にやさしい「ごみダイエットプロジェクト」を、身近なところから実行してみましよう。

このプロジェクトによるCO₂削減目標値は、平成24年までに約1,400tを見込んでいます。

問い合わせ…環境政策課・TEL 224-5866

Report

消費生活 レポート

174 未公開株のトラブルに
ご注意ください！

事例

「必ず、もつかるから未公開株を購入しないか」と電話で何度も勧誘され、契約を急がされている。未公開株とは、証券取引所などに上場していない株のことです。「上場間近と言われ購入したが、いまだに上場しない」など、未公開株のトラブルが再び増加傾向にあります。

最近では、金融庁や消費者庁などをかたる「公的機関装い型」や、過去に未公開株を購入したところのある人に被害回復をうたう「被害回復型」など、勧誘手段が多様化・巧妙化しています。消費者へのアドバイス

- ①「あなただけがもつかる」ような、うまい話はありません。きっぱり断りましょう。
- ②過去に未公開株を購入したところのある人を狙う執ような勧誘も報告されています。これまで未公開株を購入したことがある人は、特に注意しましょう。
- ③断り切れずに契約してしまったら、あやしいと思ったら、すぐに家族や生活情報センターに相談しましょう。

消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月25日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター(アトレ六階)

TEL 226-7066

(相談専用・TEL 226-7476)